

みなみ同窓

2019.7

浦之名小児童
招き魚道調査

県高岡土木事務所は7日、高崎市高岡町の浦之名川に浦之名小(落合茂明校長31人)の児童を招いて魚道周辺の生き物調査を行った(写真)。



6月に完成した魚道の効果を体感してもらおうと実施。児童は膝まで水に漬かりながら網で魚などを採取した。約30分間でオイカワやヨシノボリ、カマツカなど6種類の魚とテナガエビが見つかり、児童は魚に触りながら興味深そうに観察していた。

黒岩淳彦君(12)は「思ったよりたくさん魚がいて驚いた。自由研究でした川の水質調査は、清流が少し汚かったので、きれいにしていきたい」と話していた。